

# 岡山県の地震

## 令和8年(2026年)3月

### 目 次

○岡山県及びその周辺の地震活動（3月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 2
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 3
○地震防災メモ No.243	
「平成13年（2001年）芸予地震」から25年	… 4

●「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

●この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

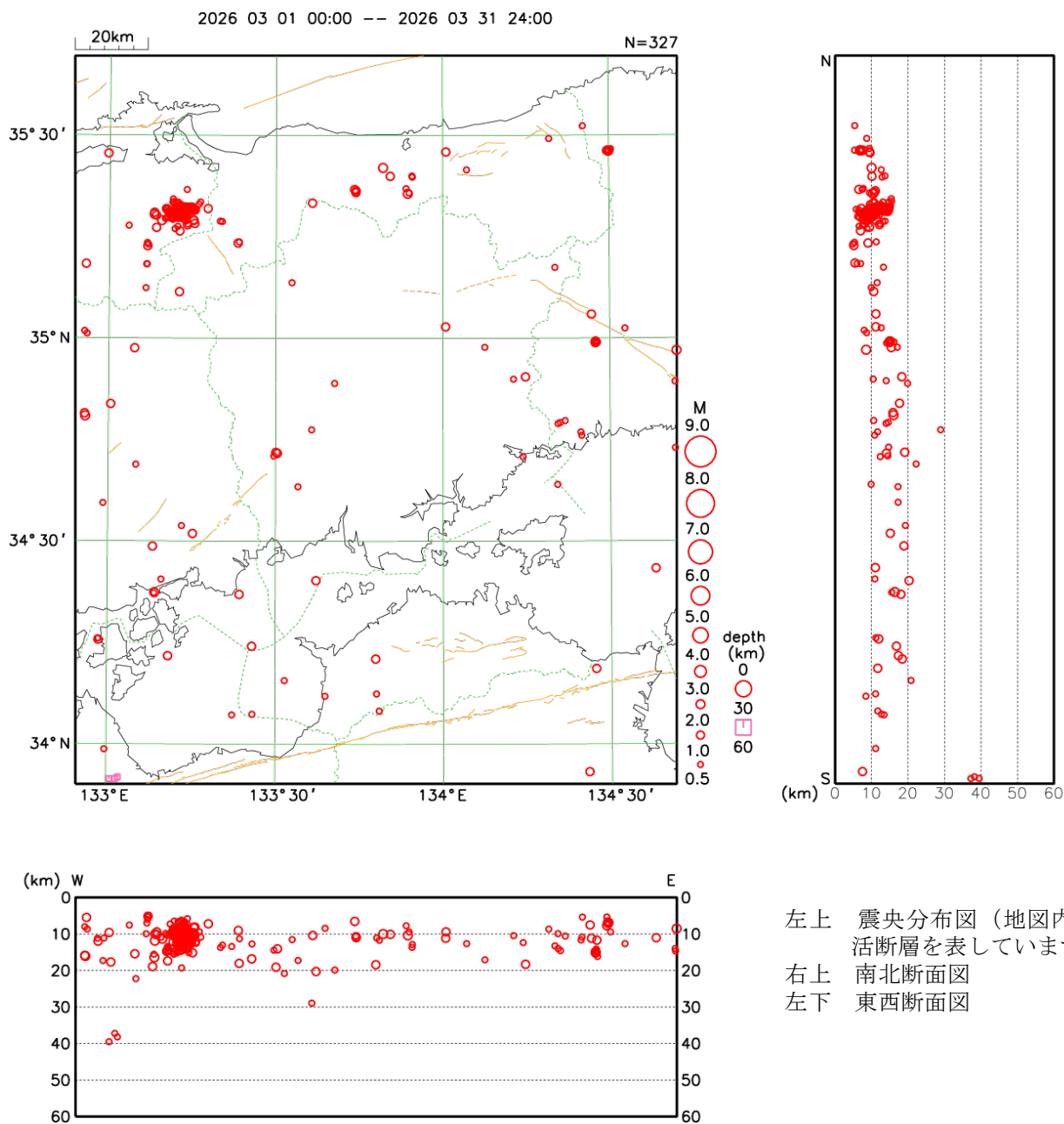
●本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

## 岡山地方気象台

# 岡山県及びその周辺の地震活動(3月)

## 震央分布図及び断面図



左上 震央分布図 (地図内の細線は活断層を表しています。)  
 右上 南北断面図  
 左下 東西断面図

## 概況

・3月に岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は2回(前月:1回)でした。

## 岡山県において震度1以上を観測した地震の表(3月)

2026年03月01日18時00分 薩摩半島西方沖 31° 07.1' N 130° 33.7' E 124km M5.4

----- 地点震度 -----

岡山県 震度 1 : 岡山美咲町久木\*, 真庭市禾津\*, 倉敷市児島小川町\*, 和気町矢田\*, 里庄町里見\*  
矢掛町矢掛\*, 瀬戸内市長船町\*, 浅口市天草公園, 浅口市金光町\*  
岡山北区御津金川\*, 岡山南区片岡\*

2026年03月25日20時31分 兵庫県南東部 34° 54.1' N 134° 57.5' E 18km M4.2

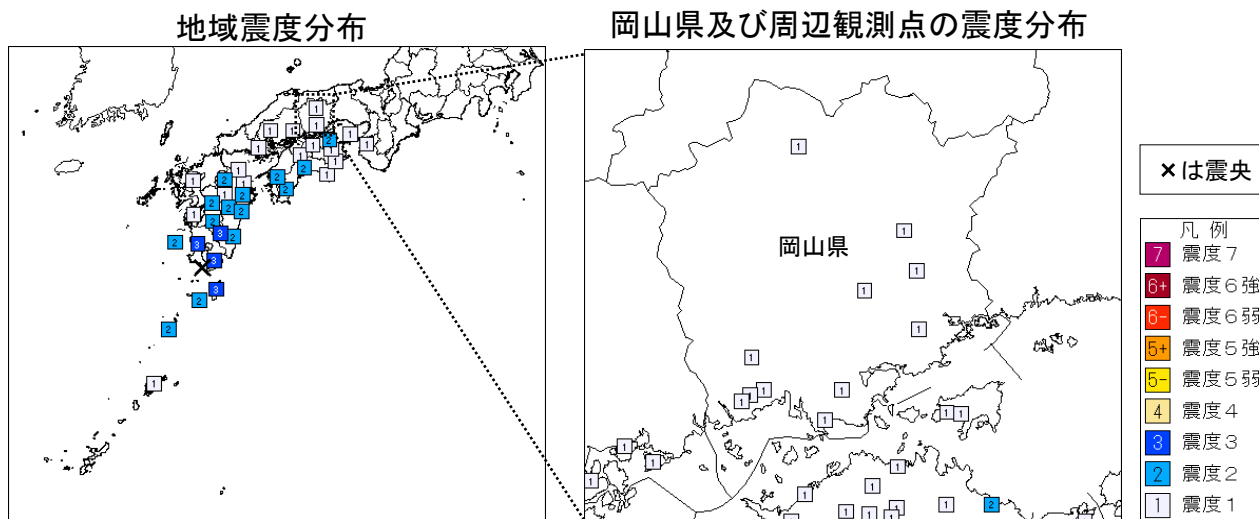
----- 地点震度 -----

岡山県 震度 1 : 津山市新野東\*, 津山市阿波\*, 鏡野町上齋原\*, 真庭市禾津\*, 真庭市蒜山下和\*  
美作市真加部\*, 美作市古町\*, 美作市江見\*, 美作市太田\*, 美作市美来\*  
倉敷市児島小川町\*, 備前市東片上\*, 和気町矢田\*, 赤磐市上市, 赤磐市松木\*  
岡山東区瀬戸町\*

- 注) 1 内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。  
なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報(カタログ編)』に掲載されます。
- 2 地名に\*印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。  
なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

# 岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(3月)

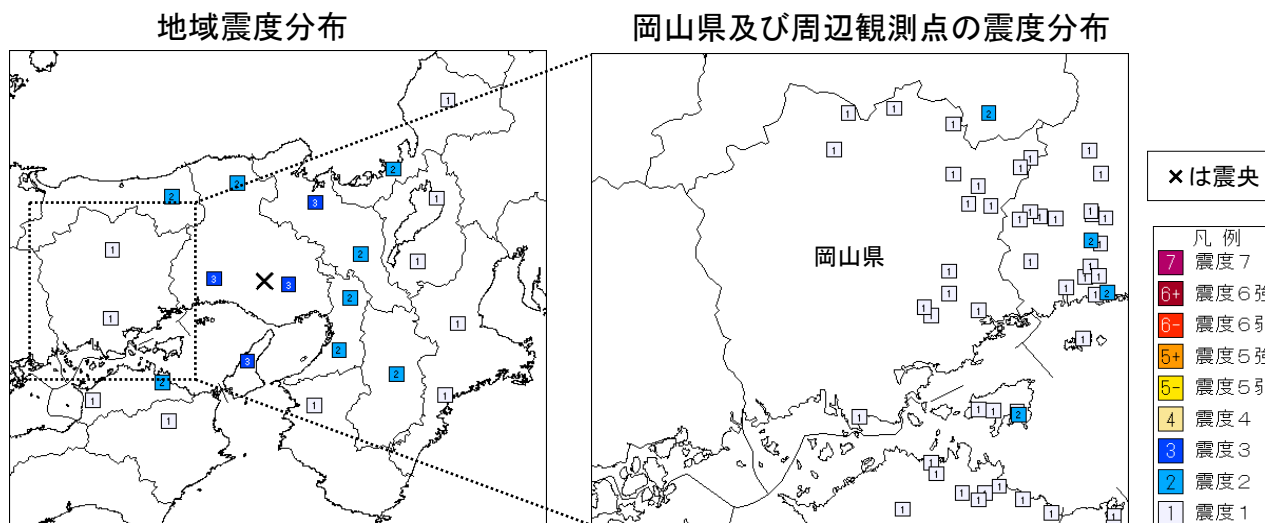
## 2026年3月1日18時00分 薩摩半島西方沖の地震



### <地震の概要>

1日18時00分 薩摩半島西方沖の地震（深さ124km、M5.4）により、宮崎県都城市・三股町、鹿児島県鹿児島市・鹿屋市・大崎町・錦江町・肝付町・南種子町で震度3を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度2～1を観測しました。岡山県では真庭市、和気町、浅口市など9市町で震度1を観測しました。

## 2026年3月25日20時31分 兵庫県南東部の地震



### <地震の概要>

25日20時31分 兵庫県南東部の地震（深さ18km、M4.2）により、京都府福知山市、兵庫県神戸市東灘区・神戸市兵庫区・神戸市長田区・神戸市北区・西宮市・加古川市・西脇市・三木市・三田市・加西市・丹波篠山市・丹波市・多可町・加東市・姫路市・淡路市で震度3を観測したほか、東海・北陸・近畿・中国・四国地方にかけて震度2～1を観測しました。岡山県では津山市、備前市、倉敷市など9市町で震度1を観測しました。

# 「平成13年(2001年)芸予地震」から25年

「平成13年(2001年)芸予地震」の発生から今年で25年が経ちました。今回はこの地震を振り返るとともに、この地震の発生タイプである「沈み込むプレート内の地震」について解説します。

## ○平成13年(2001年)芸予地震

2001年3月24日、安芸灘の深さ46kmでマグニチュード(以下、「M」と略します)6.7の地震が発生し、広島県で最大震度6弱を観測したほか、関東～九州地方にかけて震度5強～1を観測しました(図1)。この地震により、2名の方が亡くなったほか、負傷者288名、住家全壊70棟等の被害が発生しました(総務省消防庁)。また、岡山県の最大震度は4を観測し、負傷者1名、住宅一部被害18棟などの被害が発生しました(岡山県地域防災計画(資料編))。

気象庁はこの地震を「平成13年(2001年)芸予地震」(以下、「平成の芸予地震」と略します)と命名しました。

## ○沈み込むプレート内の地震

日本付近で発生する地震は、令和6年能登半島地震のような陸のプレート内の浅いところで発生する「陸域の浅い地震」、南海トラフ地震のような陸のプレートと海のプレートの境界で発生する「プレート境界の地震」、そして、陸のプレートの下に沈み込む海のプレート内で発生する「沈み込むプレート内の地震」に分けられます(図2)。

平成の芸予地震は、プレート境界である南海トラフ巨大地震の想定震源域より深い領域の、沈み込んだフィリピン海プレート内で発生した地震です(図3)。

## ○安芸灘～伊予灘～豊後水道領域(図3)の地震活動

平成の芸予地震の震源域を含む安芸灘～伊予灘～豊後水道の地下のフィリピン海プレート内では、1905年6月2日の明治の芸予地震(M7.2)など、過去に繰り返しM7前後の地震が発生しています(表1)。これらの地震は、沈み込んだプレート内の地震としては震源の深さが比較的浅く、直上に陸地があることから、中国地方ほかの広い範囲に被害をもたらすという特徴があります。

政府の地震調査研究本部によると、この領域に発生するM7前後の地震は、表1のように1600年以降の400年余りの間に7回という比較的高い頻度で発生していることから、今後30年以内に発生する確率が40%程度と評価されています。

日本付近では、前述の地震発生のタイプにより、どこでも被害を伴う地震が発生する可能性があります。各地域に被害をもたらした地震について振り返り、災害から得た教訓を学ぶことにより、突発的に発生する地震に備えておくことが大切です。

(参考) 地震調査研究推進本部

日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価(第二版)

[https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou\\_pdf/hyuganada\\_2.pdf](https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/hyuganada_2.pdf)

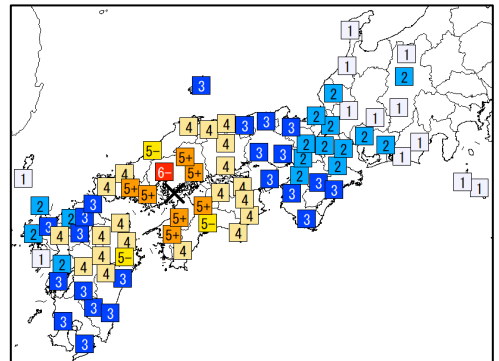


図1 平成13年(2001年)芸予地震の地域震度分布

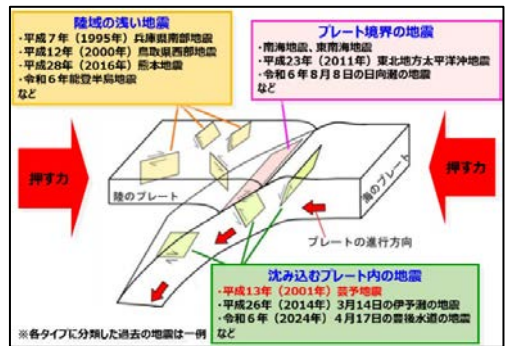


図2 日本周辺で発生する地震のタイプ



図3 平成13年(2001年)芸予地震の発生した場所

表1 安芸灘～伊予灘～豊後水道領域のフィリピン海プレート内で過去に発生した地震

発生年	マグニチュード	死者・行方不明者	負傷者
1649	7.0	あり	-
1686	7.2	あり	あり
1749	6.8	-	-
1854	7.4	-	-
1857	7.3	あり	-
1905	7.2	11	177
2001	6.7	2	288